

平成18年度第2回食の安心・安全意見交換会

- 1 日 時：平成18年11月21日（火）
- 2 場 所：丹波食彩の工房及び周辺の黒大豆・野菜ほ場（京丹波町）
京都府農業総合研究所（亀岡市）
- 3 出席者：消費者団体7名、京都府8名
- 4 テーマ：農産物生産における食の安心・安全の取組について
- 5 概 要：

丹波食彩の工房

- ・ 工房の取組（加工事業、消費者との交流、農産物オーナー制等）説明と意見交換
- ・ 野菜・黒大豆ほ場見学

京都府農業総合研究所

- ・ 農産物生産における減農薬の取組説明と意見交換



【食彩の工房で説明を聞く参加者】

6 主な意見等：

農家にとっては、農薬を使用しないと、農作物の生産が大変なのは分かるが、一方で、子どもたちにおけるアレルギーなどの問題も出ており、農薬の使用を減らしてほしいと思っている。

その意味で、農総研で農薬を減らす対策の研究をされていることを目を見て、展望が見えてきた。そして、減らす努力をされていることをうれしく思った。

農薬の使用についてだけ説明されても、消費者にとっては理解しにくいところがあるが、本日は、実際に農作物が植わっているところを見ながら、「農法」と「農薬」の両方の説明があり、百聞は一見に如かずで、分かりやすかった。

工房の取組で、子どもたちが農業の実体験があったが、大切なこと。